

私も水俣病では…

認定申請者ぞくぞく

高まる住民の関心

「隠れた患者掘り起そう」

私も水俣病ではないかと熊本・鹿児島県公害被害者認定審査会(会長・徳田加次郎教授)に認定申請を求めた人が、このところ急にあふえている。

水俣・芦北で38人
4月の新認定以後

二十九日まで、水俣市在住者だけで三千人となり、芦北郡津奈木町などを含めると三千八人に上る。すでに患者を出している家族や、その周辺からの申請が多く、年節的には五十歳代以上が中

心となっている。中には十歳(水俣市)の胎児の疑いのある人も含まれている。

ふえ始めたのは四月二十二日に十三人の新患者が認定された以後で、特にこの一週間で水俣市で十

三人もの人が申請した。これほど大量の認定申請が出ているのは公害認定後初めてのことであり、

最近、未認定患者への関心が急速に高まってきたためとみられる。このように水俣市内の患者多

発地帯では、ようやく「疑わしいものはこのさいはつきりさせ、隠れていた者を掘り起そう」という前向きな姿勢に変わってきたわ

けで、次回の審査会の成り行きが注目される。